

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

シネラ・ニュース No.217

June.2015

6

特別企画

福岡市博物館「山本作兵衛の世界」協力

炭鉱の記憶

福岡市博物館の「山本作兵衛の世界」に併せて炭鉱を描いた映画を特集。



やま
炭鉱に生きる

©2006 MONTAGE



作兵衛さんとの対話 2015(仮題)



三たびの海峡 ©「三たびの海峡」製作委員会



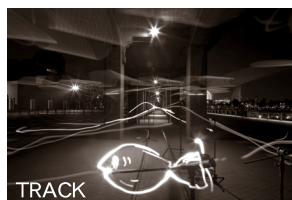
生きとし生けるもの

©日活

特別
企画

イメージフォーラム・フェスティバル 2015

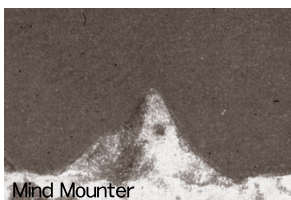
日本最大の実験映像の祭典、イメージフォーラム・フェスティバル。日本と世界の最新映像を上映。



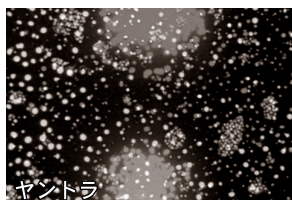
TRACK



星空の見える家



Mind Mounter



ヤントラ



スラヴォイ・ジジェクによる
倒錯的イデオロギー・ガイド

炭鉱の記憶

福岡市博物館の「山本作兵衛の世界」に併せて炭鉱を描いた映画を特集。

12【金】
14:00
17【水】
14:00
20【土】
14:00



女ひとり大地を行く

監督：亀井文夫
出演：山田五十鈴／宇野重吉

昭和7年から戦後までの北海道の炭鉱を舞台とした物語。炭鉱労働者の映画を作りたいという労働組合の意向により、労働者たちのカンパにより製作された。秋田から子連れで炭鉱にやって来た女性の20年に及ぶ年代記であり、労働者が労働条件の改善を経営者から勝ち取っていくという内容。

1953年／16ミリ／モノクロ／137分
キヌタプロダクション＝炭労北海道支部

13【土】
11:00
25【木】
14:00
7/5【日】
14:00
7/10【金】
14:00



にあんちゃん

監督：今村昌平
出演：長門裕之／松尾嘉代

昭和28年、佐賀県の小さな炭鉱で暮らす一家を描いた作品。原作は安本末子という10歳の少女の日記で、彼女は映画に登場する4人兄妹の末っ子。炭坑で父親が死亡し、不況の影響で家族がバラバラになりながらも懸命に生きていく姿が感動的に描かれる。文部大臣賞を受賞した傑作。

1959年／35ミリ／モノクロ／101分／日活

11【木】
11:00
24【水】
14:00
27【土】
14:00



©「三たびの海峡」製作委員会

三たびの海峡

監督：神山征二郎
出演：三國連太郎／南野陽子

吉川英治文学新人賞を受賞した帚木蓬生の同名小説の映画化。戦前、釜山に住むハーシグンは徴用により筑豊の炭鉱にやって来る。炭鉱を逃げ出した彼は、日本人女性千鶴と出会い、戦後二人で韓国に帰るのだが…。本格的な韓国ロケが行われており、韓国監督の協力など当時の日本映画では異例の作品となった。

1995年／35ミリ／カラー／123分
「三たびの海峡」製作委員会

11【木】
14:00
18【木】
11:00
21【日】
11:00



©日活

生きとし生けるもの

監督：西河克己
出演：三國連太郎／南寿美子

山本有三の未完の同名小説を原作とした映画で、西河克己監督の日活入社第一作。北海道の炭鉱の労働争議を背景として、東京の鉱業会社に勤める主人公達のほのかな恋愛、人間模様を描いた文芸作品。東京の街並みや文化が描かれており、労働運動を描いたものとは一線を画す。

1955年／BD／モノクロ／117分／日活

12【金】
11:00
20【土】
11:00
25【木】
11:00



花と龍

監督：山下耕作
出演：中村錦之助／佐久間良子

原作は火野葦平の「花と竜」。明治末期、四国から一旗揚げようと石炭景気に沸く北九州にやって来て、石炭を船に積み込む沖仲仕になる玉井金五郎の熱血溢れる青春譜。玉井金五郎は火野葦平の父親であり、金五郎が出世を果たすまでを中村錦之助が明るいタッチで演じる。

1965年／35ミリ／カラー／97分／東映

26【金】
11:00
7/2【木】
11:00
7/5【日】
11:00



©2006 MONTAGE

やま 炭鉱に生きる

監督：萩原吉弘

山本作兵衛の描いた絵に魅了された製作者が、「何故山本作兵衛の絵に出てくる人物は凛々しく清々しいのか」という疑問を解明するため、山本作兵衛の人生と共に多くの炭坑夫にインタビューしたドキュメンタリー。炭坑夫たちの証言は運命共同体のようにして生きた人々の暮らしを生き生きと伝える。

2004年／35ミリ／カラー／70分／モンタージュ

会 期：6月10日(水)～7月12日(日)※休館日・休映日除く
観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)
※「わの会」会員は300円。(会員証の提示が必要です。)



13【土】
15:00
7/8【水】
14:00
7/11【土】
11:00



加東大介ボタ山へ帰る

演出：木村栄文

「筑豊のこどもたち」に出演した俳優加東大介が、映画が撮影された場所を再度尋ねる作品。山本作兵衛宅にも立ち寄る。

1968年／DVD／カラー／49分／RKB毎日放送



まっくら

演出：木村栄文

常田富士男と白石加代子が筑豊に生きる人を演じ、木村栄文がテレビレポートとして出演している。ドラマとドキュメンタリーを融合させた実験的な作品で、炭鉱に生きる人々への愛が溢れる。

1973年／DVD／カラー／48分／RKB毎日放送

14【日】
14:00
18【木】
14:00
21【日】
14:00



どたんば

監督：内田吐夢
出演：江原真二郎／加藤嘉

原作はNHKのために菊島隆三が書き下ろしたもので、芸術祭文部大臣賞を受賞している。映画化に当たって橋本忍が脚本化。美濃平野にある零細炭鉱での落盤事故で、地下に閉じ込められた5人の炭坑夫たちの人間ドラマ、彼らを救出しようとする人々の人間のドラマが緊迫した群像劇として描かれる。
※東京国立近代美術館フィルムセンター収蔵作品

1957年／35ミリ／モノクロ／108分／東映

10【水】
14:00
19【金】
14:00
28【日】
14:00
7/4【土】
14:00



青春の門

監督：浦山桐郎
出演：田中健／吉永小百合

五木寛之の同名の大河小説の「筑豊編」の映画化。大正から戦後の混乱期までの筑豊を舞台としている。炭坑夫の父親を亡くした伊吹信介が成長する背景に、石炭産業や当時の炭坑夫達の暮らしが盛り込まれている。筑豊から見た日本の歴史ともいえる大作で、オープニングに山本作兵衛の絵が使用されている。※途中5分の休憩あり

1975年／35ミリ／カラー／188分／東宝

27【土】
11:00
7/3【金】
11:00



海底炭鉱に生きる 池島からの報告

監督：野崎健輔

池島は長崎県西彼半島の沖にある周囲約4キロの離島。海底炭鉱があり、松島炭鉱が1959年から出炭を開始した。85年の最盛期には135万トンを出炭。本作は最盛期の頃の操業の様子を描いたドキュメンタリーである。池島炭鉱の徹底した合理化と安全対策が記録されている。83年毎日映画コンクール教育文化賞受賞。

1983年／16ミリ／カラー／54分／RKB映画社

10【水】
11:00
24【水】
11:00
14【日】
11:00
26【金】
14:00
17【水】
11:00
28【日】
11:00
19【金】
11:00

作兵衛さんとの対話 2015(仮題)

監督：熊谷博子



日本初公開

今年は戦後70年。作兵衛さんは、あの戦争をどう考えていたのか。69歳の時、スケッチブックの裏に書いた言葉。「地球の上に軍人あり武器がある以上、絶対、戦争人殺しが起こらないと予言できませんか。文明を誇る先進国ほど原爆実験に大層ではありませんか。かかー。」その炭鉱記録画は見事だ。だがそれを支えているのは、作兵衛さんの心である。節目の年に、じっくり画を見て作兵衛さんと対話する。そして作品に登場するのは、作兵衛さんの画にあるような姿で実際に働いていた、104歳になる元おんな炭坑夫たちである。彼女たちが語る様々の人生。作兵衛さんは今も生きている。(監督による作品紹介)

福岡市博物館の展示に併せて製作された、新作ドキュメンタリー映画。日本初公開。

2015年／BD／カラー／75分／オフィス熊谷

イメージフォーラム・フェスティバル2015

日本最大の実験映像の祭典、イメージフォーラム・フェスティバル。
日本と世界の最新映像を上映。

主催：福岡市総合図書館／映像ホール・シネラ実行委員会／イメージフォーラム

会 期：6月3日(水)～7日(日)
観覧料：1,000円(当日1回券)／800円(前売り1回券)
2,500円(4回券)／4,500円(フリーパス券)

※定員制。各回入替制。
※前売り券はチケットぴあ(Pコード466-139)、ローソンチケット(Lコード85309)で販売。
※障がい者、高齢者及び「わの会」割引なし。
※4回券、フリーパスはお一人様用です。複数人では使用できません。

プログラムA 6月6日(土)11:00

日本アニメーション・パノラマ1 (9作品64分)
なくさめるとき 2014年/ビデオ/8分/外山光男
天使モドキ 2014年/ビデオ/13分/中村智道
MASTER BLASTER 2014年/ビデオ/4分/冠木佐和子
眠れぬ夜の流れ星 2015年/ビデオ/8分/若林萌
Steel Gears Sheep Heart 2015年/ビデオ/3分/加賀達也
息がでない 2015年/ビデオ/6分/木島彩矢香
コップの中の子牛 2014年/ビデオ/11分/朱彦彦
ここが世界のすべての 2015年/ビデオ/5分/谷口未来
幕 2014年/ビデオ/6分/水尻自子



プログラムB 6月7日(日)11:00

日本アニメーション・パノラマ2 (11作品64分)
relative 2014年/ビデオ/6分/佐藤義尚
WALK 2015年/ビデオ/8分/佐竹真紀
ズドラストヴィチュ! 2015年/ビデオ/6分/幸洋子
返事をする/繰り返す 繰り返した/消す/特に好き 特に好きじ
やなくなった。 2014年/ビデオ/5分/大内里絵子
その家の名前 2015年/ビデオ/5分/坂上直
gymnasiumany 2015年/ビデオ/5分/中西義久
TRACK 2015年/ビデオ/4分/トーチカ
(ナガタケシ+モン/カゾエ)
指紋図 2014年/ビデオ/7分/鈴木宏忠
E22 2014年/ビデオ/10分/小池照男
TENSAI BANPAKU 2015年/ビデオ/4分/水江未来
コンステレーション 2014年/ビデオ/4分/関口和博

プログラムC 6月4日(木)14:00

フィクションの新しいかたち1 (2作品103分)
大村植物標本 2015年/ビデオ/19分/須藤なつ美
白い蠟燭の巣 2015年/ビデオ/84分/山本英



講演会

6月13日(土)
14:00～14:50

産業としての石炭、文化としての炭鉱 —石炭が身近にあった頃—

講師：有馬 学(福岡市博物館館長)

1945年鹿児島県出身。1971年東京大学文学部卒業。76年同大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。九州大学文学部講師、助教授、教授を経て94年より同大学院比較社会文化研究科教授。2009年退官。2012年から福岡市博物館館長。歴史学者、専門は日本近代史。著書に「日本の歴史(23)帝国の昭和」(2002年/講談社)などがある。

※開場は開演の30分前。

※講演は有料で15時からの「加東大介ボタ山へ帰る」J「まっくら」とセット料金です。

※7月のみの上映作品。作品内容はシネラニュース7月号に紹介します。

「筑豊のこどもたち」 監督：内川清一郎

「坑道の記憶 炭坑絵師・山本作兵衛」 構成：大村由紀子

「三池 終わらない炭鉱の物語」 監督：熊谷博子

「信さん 炭坑町のセレナーデ」 監督：平山秀幸

プログラムD 6月5日(金)14:00

フィクションの新しいかたち2 (2作品83分)
羊飼物語/名古屋 2014[Shinjuku2009&Ogaki2010 MIX]
2015年/ビデオ/22分/H.584
(前田真二郎+鈴木光+松島俊介)
Road Movie 2014年/ビデオ/61分/大力拓哉+三浦崇志

プログラムE 6月4日(木)16:20

ドキュメンタリー 記憶のボタン (3作品96分)
記憶のマチエール#7<D-26> 2015年/ビデオ/30分/ビジュアル・ブレインズ
(風間正+大津はつね)
Remembrance～追憶のための往復書簡～ 2014年/ビデオ/21分/塚原真梨佳
星空の見える家 2015年/ビデオ/45分/古本有美

プログラムF 6月5日(金)16:20

運動性の映画 (4作品90分)
ミシンと機関車 2015年/ビデオ/20分/萩原朔美
in the room 2014年/ビデオ/7分/YUKA SATO
ぼったまろびより 2014年/ビデオ/38分/吉開菜央
経路(route) 2015年/ビデオ/25分/かわなかのぶひろ

プログラムG 6月4日(木)18:40

愛の刺激 (5作品97分)
域/れい・ぼん 2015年/ビデオ/21分/万城目純
触みの花 2014年/ビデオ/25分/早坂文
園田を元気づけてやろう的な 2015年/ビデオ/25分/太田真博
毛みれへブン 2015年/ビデオ/6分/やまだみのり
Green Glows 2014年/ビデオ/20分/白田明日香



プログラムH 6月3日(水)14:00

光景映画 知覚のためのミックス (5作品67分)
松前君が美になるための回転 2015年/ビデオ/30分/大木裕之
WAVY 2014年/ビデオ/10分/宮永亮
千年燃え続ける炎と8分19秒前に消えた星 2014年/ビデオ/5分/岡岡大輔
Mind Mounter 2015年/ビデオ/12分/大島慶太郎
AM I DREAMING OF OTHERS, OR ARE OTHERS DREAMING OF ME? 2014年/ビデオ/10分/有川滋男

プログラムI 6月3日(水)16:20

ゾーン 映像表現の可能性 (6作品69分)
アート 2015年/ビデオ/10分/伊東宣明
フランス・バニング・コック隊長の市警団 2015年/16ミリ/4分/太田曜
OKEPASELA 2015年/ビデオ/5分/田中廣太郎
冬戯—ふゆざれ— 2015年/ビデオ/26分/チームハミリ天国
(ほしのあきら+マエダ・シゲル)
見ること、聞くこと 2015年/ビデオ/12分/五島一浩
未現ゾーン浸蝕 反射像・透過像 2015年/ビデオ/12分/奥山順市

プログラムJ 6月3日(水)18:40

石田尚志映画作品集 (8作品67分)
絵巻 1995年/ビデオ/5分/石田尚志
絵巻2 1996年/ビデオ/4分/石田尚志
部屋/形態 1999年/16ミリ/7分/石田尚志
フーガの技法 2001年/16ミリ/19分/石田尚志
椅子とスクリーン 2002年/ビデオ/8分/石田尚志
絵馬・絵馬2 2006年/16ミリ/7分/石田尚志
海の映画 2007年/ビデオ/12分/石田尚志
燃える椅子 2013年/ビデオ/5分/石田尚志

プログラムO 6月7日(日)13:10

世界の傑作アニメーション：無意識のダンス (5作品74分)
クワイエット・ゾーン 2015年/ビデオ/15分/カナダ/カール・レミュー+ティヴィット・ブライアント
2014年/ビデオ/15分/スウェーデン/ニキ・リンドロース・フォン・パール
イーガー 2014年/ビデオ/9分/アメリカ/アリソン・シュルニック
形式的意識 2013年/ビデオ/20分/スイス/イーヴ・ネツハイマー
パレード 1986年/ビデオ/15分/ポーランド/イエジ・クチャ



プログラムP 6月6日(土)17:20

こだまする物語 (3作品100分)
我らの身体 2015年/ビデオ/15分/セルビア・ドイツ/ダーネ・コムリエン
醒めない熱 2014年/ビデオ/40分/フランス/サフィア・ベンハイム
千の太陽 2013年/ビデオ/45分/フランス/マティ・ディオップ



プログラムQ 6月5日(金)18:40

中国実験映画事情2015 (3作品64分)
記憶は残っていない。私は全てを記憶する 2014年/ビデオ/22分/中国/シュエ・ジャンチアン
四人の臆病者 2011年/ビデオ/26分/中国/マイ・マイ
バター・ランプ 2013年/ビデオ/16分/中国/フー・ウェイ

プログラムU 6月6日(土)13:10

ヨースト・レクフェルト1 (11作品70分)
誘惑 1961年/16ミリ/7分/アメリカ/ジョーダン・ベルソン
ヤントラ 1950-57年/16ミリ/8分/アメリカ/ジェームズ・ホイットニー
#2 1993年/16ミリ/12分/オランダ/ヨースト・レクフェルト
IFS-film 1991-94年/16ミリ/3分/オランダ/ヨースト・レクフェルト
VRFLM 1994年/16ミリ/2分/オランダ/ヨースト・レクフェルト
コンミンクルト・コンティナース 1997年/16ミリ/5分/アメリカ/スタン・ブラッケー
Gyromorphosis 1956年/16ミリ/7分/アメリカ/ハイ・ハーシュ
#3 1994年/16ミリ/4分/オランダ/ヨースト・レクフェルト
#5 1993年/16ミリ/12分/オランダ/ヨースト・レクフェルト
時間 2008年/ビデオ/9分/オランダ/バート・フェヒター
#43.4 2012年/ビデオ/1分/オランダ/ヨースト・レクフェルト

プログラムV 6月6日(土)15:20

ヨースト・レクフェルト2 (3作品62分)
#11、マレー—>モワレ 1999年/35ミリ/21分/オランダ/ヨースト・レクフェルト
#23.2 鏡の本 2002年/35ミリ/12分/オランダ/ヨースト・レクフェルト
#37 2009年/35ミリ/29分/オランダ/ヨースト・レクフェルト

プログラムW 6月7日(日)15:20

スラヴォイ・ジジェクによる倒錯的イデオロギー・ガイド (1作品134分)
スラヴォイ・ジジェクによる倒錯的イデオロギー・ガイド 2012年/ビデオ/134分/イギリス・アイルランド/ソフィア・ファインズ

※展示作品

コーネリアスのための映写機 PART II

2015年/伊藤隆介

6月

上映スケジュール



6/1 月

休 館 日

2 火

休 館 日

イ
メ
ジ
ス
テ
ィ
オ
ー
ラ
ム
・
2
0
1
5

3 水

14:00
プログラム H16:20
プログラム I18:40
プログラム J

4 木

14:00
プログラム C16:20
プログラム E18:40
プログラム G

5 金

14:00
プログラム D16:20
プログラム F18:40
プログラム Q

6 土

11:00
プログラム A13:10
プログラム U15:20
プログラム V17:20
プログラム P

7 日

11:00
プログラム B13:10
プログラム O15:20
プログラム W

8 月

休 館 日

9 火

休 映 日

炭

鉱

の

記

憶

10 水

11:00
作兵衛さんとの対話 2015(仮題)14:00
青春の門

11 木

11:00
三たびの海峡14:00
生きとし生けるもの

12 金

11:00
花と龍14:00
女ひとり大地を行く

13 土

11:00
にあんちゃん14:00
講演会15:00
加東大介ボタ山へ帰る／まっくら

14 日

11:00
作兵衛さんとの対話 2015(仮題)14:00
どたんば

15 月

休 館 日

16 火

休 映 日

17 水

11:00
作兵衛さんとの対話 2015(仮題)14:00
女ひとり大地を行く

18 木

11:00
生きとし生けるもの14:00
どたんば

19 金

11:00
作兵衛さんとの対話 2015(仮題)14:00
青春の門

20 土

11:00
花と龍14:00
女ひとり大地を行く

21 日

11:00
生きとし生けるもの14:00
どたんば

22 月

休 館 日

23 火

休 映 日

24 水

11:00
作兵衛さんとの対話 2015(仮題)14:00
三たびの海峡

25 木

11:00
花と龍14:00
にあんちゃん

26 金

11:00
炭鉱(やま)に生きる14:00
作兵衛さんとの対話 2015(仮題)

27 土

11:00
海底炭鉱に生きる14:00
三たびの海峡

28 日

11:00
作兵衛さんとの対話 2015(仮題)14:00
青春の門

29 月

休 館 日

30 火

休 館 日

7月

上映スケジュール



7/1 水

11:00
坑道の記憶 炭坑絵師・山本作兵衛14:00
信さん 炭坑町のセレナーデ

2 木

11:00
炭鉱(やま)に生きる14:00
筑豊のこどもたち

3 金

11:00
海底炭鉱に生きる14:00
三池 終わらない炭鉱の物語

4 土

11:00
坑道の記憶 炭坑絵師・山本作兵衛14:00
青春の門

5 日

11:00
炭鉱(やま)に生きる14:00
にあんちゃん

6 月

休 館 日

7 火

休 映 日

8 水

11:00
筑豊のこどもたち14:00
加東大介ボタ山へ帰る／まっくら

9 木

11:00
三池 終わらない炭鉱の物語14:00
信さん 炭坑町のセレナーデ

10 金

11:00
坑道の記憶 炭坑絵師・山本作兵衛14:00
にあんちゃん

11 土

11:00
加東大介ボタ山へ帰る／まっくら14:00
筑豊のこどもたち

12 日

11:00
三池 終わらない炭鉱の物語14:00
信さん 炭坑町のセレナーデ

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり申し込みの受付を行います。

利用申し込み対象期間:平成27年12月～平成28年5月

※別途配布の申込み用紙に対象日を記載しています。

申込み受付期間:平成27年5月17日(日)～6月5日(金)※休館日を除く

抽 選 日:平成27年6月6日(土)午前11時より

抽 選 会 場:福岡市総合図書館3階 第6研究室

利 用 申 込 書:福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出ください。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

- 博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分
- 藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話 0570-00-1010)に直接お問い合わせください。



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):092(852)0600

Fax:092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

第354回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時:2015年 6月23日(火)12:00～13:00 ※入場無料

場 所:西日本シティ銀行本店 1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)

曲 目:ドヴォルザーク作曲 弦楽四重奏曲第8番ホ長調 Op.80 他

演奏者:福岡ハイドン弦楽四重奏団

主 催:西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団(TEL 092-473-6777)



音楽文化のリサイクル



レコード/CDお売り下さい!!

ボイファイブ 092-734-4198

〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-14 立花ビル2F (AM11:00～PM8:00)